

●吸・排気系

高回転域で伸びのあるエンジンフィールを実現させるために、吸気バルブ直径27.5mm、排気バルブ直径22.5mmを採用し、吸気ダクトの配置最適化、エアクリーナー内部の積極的な整流および大型パネル式エレメントの採用により十分な吸入空気量を確保。シリンダー前傾角を30°とし、ダウンフロータイプとすることでエアクリーナーから吸気ポートを経てエキゾーストパイプにいたるまでの吸・排気の経路の曲げ部分を極力減らしストレートポート化することで、吸・排気抵抗を低減しました。

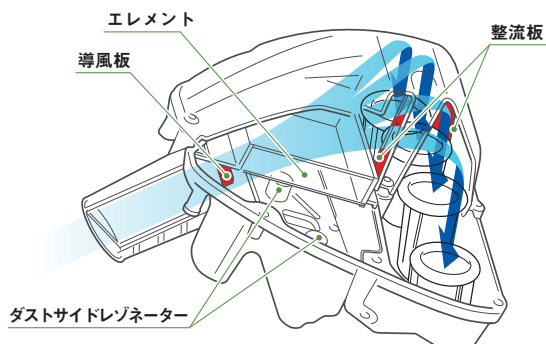
さらに、低・中回転域で粘りがあり、高回転域で伸びのある出力特性を両立させるために、スロットルボディはバルブサイズφ32mmタイプを採用。エキゾーストパイプは集合部に2枚の整流版を設定[※]し、集合部に2経路の排気経路を形成しています。 ※特許出願中

外観上特徴のあるマフラーはショートタイプとし、マフラー内部には400セルキャタライザーを装備、EURO3排出ガス規制に対応させています。

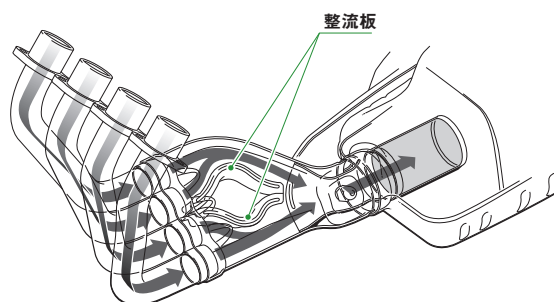
また、エキゾーストパイプは、4本を整列してエンジンに極力近づけて集合させたことで、かつてのCB400FOUR (1974年)を彷彿させる洗練された外観としています。

これらにより、吸・排気系を含めたエンジン全体の前後長を短くし、コンパクトなパワーユニットとすることで車両のマスの集中化にも寄与しています。

■エアクリーナー構造図



■マフラー構造図



■コンパクトな吸・排気系

